

ペタンク



ペタンクは南フランス生まれ、3センチくらいのビュットという標的球をねらって自分のボール直径7センチ重さ700グラムくらいの鋼鉄球)を投げて得点を競う競技です。

コート

コートは便宜上のもので、規則では4m×15mを規定とする。

(実際のプレイは、平坦地であれば、サークル、ビュットを次々と移動しながら行う。)

チーム編成は

- ・三人対三人(トリプルス-一人の持ちボール2個)
- ・二人対二人(ダブルス-一人の持ちボール3個)

足の位置

サークルの中で両足をそろえた状態で、サークルから出ないようにボールを投げる。サークルは35センチ~50センチの大きさで足下にメーヌごとに書く。

ボールの握り方

手のひらを丸めて上向きにし、ボールをその手の中に入れて軽く握る。

ボールの投げ方

ボールを握った手を後方に振り、次に前方に振るときの弾みを利用して投げる。

投球方法 ・ポワнте(ボールかビュットの近くで止まるように投げること)

・ティール(相手のボールに当てるためにノーバンドで投げること)

ゲームの進め方

- 1) 先に投げるチームを決める。
- 2) 先攻チームの中から一人がスタート地点となる直径35センチ~50センチの円を地面に書く。
- 3) 描かれた円の中で両足をそろえビュットを6m以上10m以内の距離に投げる。
ビュットの止まった位置がサークルから6m以内10m以上のときは投げなおしをする。ビュットは3回まで投げなおしができるが、3回目も無効の場合、4回目は相手チームにビュットを投げる権利が移る。その場合でも最初のボールの投球はAチームとする。
- 4) チームの中の一人が第1球目のボールをできるだけビュット近くに止まるように投げる。
一人の投球数(持ちボール)は決まっていますが、チーム内での投球順は自由。
- 5) 両チームが1球ずつ投げた後、どちらのボールがビュットに近いかを見る。
- 6) この後の投球順は、負けているチームが自分たちのボールがビュットに一番近くなるまで投げる。

こうして勝っているチーム(ビュットに一番近いボールのチーム)は休み負けているチームが投球を行う。

ビュットにボールが当たり移動したときは、移動後の位置に一番近いボールのあるほうが勝者になる。

相手チームが持ちボールをすべて先に投げた場合は、勝っているチームも残りボールを投球しなければならない。

- 7) 両チームともボールを全部投げ終わったとき、1メーヌ(1セット)が終了し、得点を数える。
- 8) ビュットに一番近いボールを持ったチームが勝者となり、得点を数え、何回かメーヌを繰り返し13点先取したチームが勝ちとなる。

得点の数え方

負けたチームの一番ビュットに近いボールより、さらにビュットに近いボールの数(1メーヌで1~6点、負けたチームは常に0点)が点数になる。